

I. 地区の概要

当地区は、小浜市の東端に位置し、一級河川 野木川沿いに発達した小平野とその三方を山林に囲まれた谷部が水田として利用されている農業地帯である。

平成9年度から大区画圃場整備を実施し、農地利用集積を進め、4つの生産組織を中心に営農を展開。平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取組み、地域共同による水路等の維持管理や農村環境保全活動を行う体制を整備し、生産組織の維持管理作業の負担軽減を図ってきた。

平成27年度には4つの生産組織が合併し、株式会社化され、特別栽培米の規模拡大や、小学校、農家レストランとの契約販売、園芸作物の導入など、多角的経営を展開している。

◇活動内容	農地維持 資源向上（共同） 資源共同（長寿命化）	◇取組面積	田	194 ha
			畑	0 ha
			草地	0 ha
◇集落数	6 集落	◇組織の構成員	農業者	57 戸
			農業者以外	88 戸
			団体	27 団体
			自治会、子供会、土地改良区等	

II. 主な取り組み

【農地維持】

◆農業者の高齢化といった課題を克服し、将来にわたって安定的な営農体制を確立するため、既存の生産組織を合併して新たにメガファーム「(株)若狭の恵」を創設し、農地中間管理機構を活用して、農地を集積し、経営規模を拡大。

特別栽培米の「ヒマワリ米」の生産・販売をするとともに経営の複合化に向けて大規模施設園芸や水田園芸にもこれから積極的に取り組む。

この「若狭の恵」をバックアップするため、当活動組織により地域全体であぜの草刈や水路の管理などを地域全体で担える体制を構築し実施。

【資源向上（共同）】

◆景観作物としてヒマワリの栽培を実施し、ひまわり畑を造成し観光客を呼び込んでいる。※年々栽培面積の拡大を行い、来場者数も増加。

◆ヒマワリを特別栽培米の緑肥として活用し、ブランド化を図っている。

◆小学校と連携し、環境学習会として魚類の生き物調査を継続的に実施。

◆農業用のため池や水路に生息する外来種（オオクチバス、オオカナダモ）駆除を地域住民と宮川小学校が連携して実施。



【資源向上（長寿命化）】

・当活動組織の役員は土地改良区の役員や「(株)若狭の恵」の役員および従業員を兼務しており施設の点検、診断、更新結果等の情報の蓄積、共有が可能となり、関係者による三位一体的な施設の保管理体制を構築。